

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により亡くなられました方やそのご家族の皆様、また、平成30年7月豪雨により亡くなられました方やそのご家族の皆様には、つつしんでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の生活の一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。
(国立民族学博物館長 吉田憲司)

編集後記

前号の編集後記で追記したように、本館は6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震の被害を受けている。現在は臨時休館中であるが、幸いなことに企画展をはじめとするイベントの今後のスケジュールも大幅に変更されながらも、めどが立ちつつある。本号のインフォメーション欄のほか、ホームページ等で最新情報をご確認ください。

本号の特集はみんぱくで進行中の地域研究画像デジタルライブラリのプロジェクトを取り上げた。プロジェクトの正式名称は何度読んでも覚えられなかったが、いずれも古い写真の整理だけにとどまらない未来に向けた研究の広がりがわかり、今後の展開が楽しみである。このプロジェクトが本館での展示などに発展した際には、あらためて紹介したく考えている。
(丹羽典生)

●表紙：左上から時計回りに

1. 撮影：市川光雄、コンゴ民主共和国イトウリの森、1974年（詳細は5頁参照）
2. 片倉もとこ「アラブ社会」コレクションに登録された写真（KM6138、撮影：片倉もとこ、サウジアラビア、1970年）
3. アガ・トンガン遺跡の発掘風景（撮影：片岡修、グアム島、2015年）
4. 科研代表者から提供されたスライド写真。デジタル化した後にもスライドの位置が変わらないよう気を配る

次号の予告

特集

「受け継がれる用の美」（仮）

みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



月刊みんぱく 2018年8月号

第42巻第8号通巻第491号 2018年8月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生（編集長） 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

みんぱくフェイスブック
みんぱくツイッター
みんぱくインスタグラム
みんぱくYouTube

<http://www.minpaku.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/MINPAKUofficial>

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

